

## 令和2年度 かいせい東川 事業計画書

- 1 利用定員 40名 (就労継続支援事業B型)
- 2 職員定数 施設長1名、支援課長1名(兼務)、主任1名(兼務)  
サービス管理責任者1名、支援員8名(常勤5名、非常勤3名)
- 3 事業運営基本計画(方針)  
障がいのある人たちが、住み慣れた地域で作業や生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、利用者の個性や障がい特性を尊重した施設運営に努めていく。
- 4 今年度の重点目標
  - ・作業の工程や支援の方法などを職員間で改めて確認、統一し、利用者支援の充実を図る。
  - ・パン製造に関わる早出や、休日の販売など、勤務の変動に対して職員間の協力体制をつくる。
  - ・食品衛生管理や食品表示などの法改正に対応し、より安全な商品づくりを心がける。
- 5 利用者への支援
  - (1) 作業支援  
個々の支援計画を基に、作業工程の細分化、補助具等を利用し、利用者個々の能力を引き出し、労働の対価として工賃を得ることの喜びが持てるよう支援する。
  - (2) 生活支援、健康管理  
利用者個々の心身の健康状態を把握するとともに、年数回の行事やレクリエーション等も取り入れる。また、地域で生活を送る上で必要な社会的一般常識やマナー習得の支援を行う。
  - (3) 環境の整備  
施設内外の美化と整理整頓に努め、作業の効率化や危険防止に留意する。
- 6 生産活動内容
  - ・パンの製造、販売           ・クッキーの製造、販売
  - <重点目標>
    - ・パン事業の早期安定   ・品質保持と安定した製品の供給   ・新製品の開発
- 7 防災計画  
防災計画を見直すとともに、避難訓練等を年2回実施する。
- 8 開所日・利用時間  
平日 9:00～16:00           休所日: 土日祝、年末年始、開所記念日
- 9 行事  
健康診断(利用者・職員)、レクリエーション、自治会活動(年2回程度)
- 10 実習生・ボランティアの受入れ  
学校や地域からの要望があれば、実習生やボランティアを受け入れる。
- 11 職員研修  
施設の適正な運営を図るため職員の資質の向上に努め、権利擁護、防災、感染予防、事故防止など必要な研修を実施する。
- 12 資金計画  
通常の実業経費は訓練等給付費収入でまかなう。

## 令和2年度 ふっと 事業計画書

- 1 利用定員 70名 (生活介護)
- 2 職員定数 施設長1名、支援課長1名(兼務)、主任1名(兼務)、  
サービス管理責任者1名、支援員12名(常勤6名、非常勤6名)  
看護職員2名(非常勤)、嘱託医1名
- 3 事業運営基本計画(方針)  
障がいのある人たちが、住み慣れた地域で活動や生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、利用者の個性や障がい特性を尊重した施設運営に努めていく。
- 4 重点目標
  - ・創作活動やレクリエーション活動などにおいて、利用者一人ひとりの希望や個性をより発揮できるよう、プログラムや支援の内容を工夫し、改善していく。
  - ・作業班では、利用者の適性や希望に合わせた生産活動を行い、一人ひとりの能力を活かしていく。
  - ・権利擁護、防災、感染予防など、利用者の安全や安心に対する取り組みを進める。
- 5 利用者への支援
  - (1) 活動班における創作活動・生活支援  
利用者が地域でより豊かな生活を送るため、創作活動・レクリエーション・日常生活等に重点を置き、個別支援計画を作成しそれに基づき継続的に支援する。
  - (2) 作業班における作業支援  
個別支援計画を基に、作業工程の細分化、補助具等を利用し、作業班に属する利用者一人ひとりの能力を引き出せるよう支援する。
  - (3) 環境の整備  
施設内外の美化と整理整頓に努め、活動や作業の効率化や危険防止に留意する。
- 6 活動内容  
創作活動(アート、音楽): 活動に対して意欲を持てるよう発表の場なども設ける。  
社会活動(見学、体験): 社会の一員として様々な社会参加を試みる。社会資源を活用する。  
作業(軽作業、雑貨製作): 作業を通して、日中活動の喜びを持てるようにする。
- 7 防災計画  
防災計画を見直すとともに、避難訓練等を年2回実施する。
- 8 開所日・利用時間  
平日 9:00～16:00 休所日: 土日祝、年末年始、開所記念日
- 9 行事  
健康診断(利用者・職員)、社会見学、調理実習、国際交流、クリスマス会等
- 10 実習生・ボランティアの受入れ  
社会福祉士実習生やボランティアを数名程度受け入れ予定。
- 11 職員研修  
施設の適正な運営を図るため職員の資質の向上に努め、権利擁護、防災、感染予防、事故防止など必要な研修を実施する。
- 12 資金計画  
通常の運営経費は介護給付費収入でまかなう。

## 令和2年度 オリーブ 事業計画書

- 1 利用定員 就労継続支援事業B型 10名
- 2 職員定数 施設長1名、主任1名（兼務）、  
サービス管理責任者1名、支援員3名（常勤1名、非常勤2名）
- 3 事業運営基本計画（方針）  
障がいのある人たちが、住み慣れた地域で作業や生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、利用者の個性や障がい特性を尊重した施設運営に努めていく。
- 4 重点目標
  - ・作業の工程や支援の方法などを職員間で改めて確認、統一し、利用者支援の充実を図る。
  - ・季節商品の販売や季節感のある店舗装飾を行うことで売り上げをアップし、工賃額を維持する。
  - ・食品衛生管理や食品表示などの法改正に対応し、より安全な商品づくりを心がける。
- 5 利用者への支援
  - (1) 作業支援  
個々の支援計画を基に、作業工程の細分化、補助具等を利用し、利用者個々の能力を引き出し、労働の対価として工賃を得ることの喜びが持てるよう支援する。
  - (2) 生活支援、健康管理  
利用者個々の心身の健康状態を把握するとともに、年数回の行事やレクリエーション等も取り入れる。また、地域で生活を送る上で必要な社会的一般常識やマナー習得の支援を行う。
  - (3) 環境の整備  
施設内外の美化と整理整頓に努め、作業の効率化や危険防止に留意する。
- 6 生産活動内容
  - ・焼き菓子の製造、販売
  - ・「パンの店オリーブ」の運営

<重点目標>

  - ・生産活動の収支を改善するため、季節商品の開発や、販路の拡大などを検討する。
- 7 防災計画  
防災計画を見直すとともに、避難訓練等を年2回実施する。
- 8 開所日・利用時間  
平日 9：00～16：00 休所日： 土日祝、年末年始、開所記念日
- 9 行事  
健康診断（利用者・職員）、レクリエーション大会、自治会活動（年2回程度）
- 10 実習生・ボランティアの受入れ  
社会福祉士実習生やボランティアを数名程度受け入れ予定。
- 11 職員研修  
施設の適正な運営を図るため職員の資質の向上に努め、権利擁護、防災、感染予防、事故防止など必要な研修を実施する。
- 12 資金計画  
通常の運営経費は訓練等給付費収入でまかなう。

## 令和2年度 グループホームわふと 事業計画書

- 1 利用定員 4住居 合計26名 (共同生活援助事業)  
住居名：「わふと」、「あみかる」、「あみかる・2」、「あみかる・3」
- 2 職員定数 管理者1名(常勤・兼務)、サービス管理責任者2名(常勤・兼務)、世話人8名(常勤・兼務5名、常勤・専従1名、非常勤・兼務1名、非常勤・専従1名)、生活支援員4名(常勤・兼務4名)、夜間支援従事者10名(常勤・兼務9名、非常勤・兼務1名)
- 3 事業運営基本計画(方針)  
地域において共同して自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう個々の障がい、身体的機能の状態に配慮した住居において、入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を行うことを基本方針とする。
- 4 重点目標
  - ・個別支援のさらなる向上を図るため、職員の支援技術を向上する。
  - ・収入、支出の見直しを図り、グループホームの安定した運営をめざす。
  - ・権利擁護、防災、感染予防、事故防止など、利用者の安全や安心に対する取り組みを進める。
- 5 利用者への支援
  - (1) 支援内容をふまえ、本人や家族のニーズに合わせた個別支援計画の作成
  - (2) 支援計画に合わせた評価を定期的実施
  - (3) 日常生活での個別支援、個別相談
  - (4) 健康管理、通院支援
- 6 防災計画  
防災計画を見直すとともに、避難訓練等を年2回実施する。
- 7 開所日・利用時間  
特定の休所日や利用時間は無し。
- 8 行事  
年数回程度の行事を実施する。
- 9 職員研修  
施設の適正な運営を図るため職員の資質の向上に努め、権利擁護、防災、感染予防、事故防止など必要な研修を実施する。
- 10 資金計画  
通常の運営経費は利用料収入と訓練等給付費収入でまかなう。